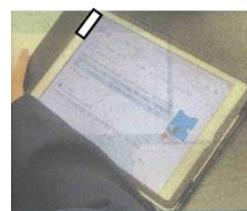


# AR 地球儀

## 中学校 第2学年 理科 「地球の大気と天気の変化」

項目	内容
単元	□単元名「地球の大気と天気の変化」第1時／全23時
活用事例	<p><b>1 単元に関わる画像や動画を基に、気付いたことを発表する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書の写真の島の上には雲があるのに、海の上には雲がない。</li> <li>雲ってどうやってできるのだろうか。</li> <li>季節によって、同じような天気になるのはなぜだろうか。</li> </ul> <p><b>2 課題をつかむ。</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">         この単元で学習したいことを挙げよう。       </div> <p><b>3 大気について知る。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大気は約100km。100kmから上が宇宙。</li> <li>大気中で、天気の変化が起きている。</li> </ul> <p><b>4 「AR地球儀」を使って、1週間の雲画像の変化を調べる。</b></p> <p>○興味をもった事象について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>時間が経過するごとに西から東へと雲が動いている。</li> <li>陸上だけでなく、海上にも雲は発生している。</li> <li>台風は、南から北の日本に向かって上がってきている。</li> <li>雲のあるところで、雨は降っている。</li> </ul> <p><b>5 気付いたことや疑問を交流する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>雲（台風）はどのように発生して、どのように消えていくのだろうか。</li> <li>似たような（雲の）動きが繰り返し起きるのはなぜだろうか。</li> </ul> <p><b>6 単元を貫く課題をつくる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地球の大気や天気の変化はどのようなしくみで起こるのだろうか。</li> </ul> <p><b>7 天気についてのことわざや言い伝え（観天望気）について調べる。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ツバメが低く飛ぶと雨が降る。</li> <li>山に3回雪が降ると、平地でも雪が降る。</li> </ul>
期待される学習効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球規模での天気の変化の様子、特徴を視覚的に捉えやすくなったり、画面の情報を活用して考えを表現しやすくなったりする。</li> <li>学習に必要な気象情報（現在や過去、未来（予想）の気温や雲の画像等）を、必要に応じてすぐに得ることができる。</li> </ul>



以下の学年・単元・時間においても同様の活用が可能

第2学年	単元名「地球の大気と天気の変化」第11時／全23時 第16時／全23時 第17～19時／全23時
第3学年	単元名「宇宙を観る」 第7、8時／全22時

